

目次

巻頭言『編集文献学研究』の創刊に際して 明星聖子…………… 4

論文

特集：ヘルダーリン 学術版編集の歴史——翻訳のための編集を考える

特集に寄せて 矢羽々崇…………… 6

陰に隠れた史的批判版ヘルダーリン全集

——ツィンカーナーゲルとその編集 林英哉…………… 10

成長する有機体としての詩

——バイスナーとシュトットガルト版 大田浩司…………… 30

D・E・ザトラー編フランクフルト版ヘルダーリン全集について

——その歴史的総括の試み 益敏郎…………… 52

ヘルダーリン 学術版編集の可能性

——シュミット版、クナウプ版、レイタニ版 矢羽々崇…………… 68

* * *

理念としての史的批判版

——ジークフリート・シャイベを中心に 森林駿介…………… 82

研究版とは何か

——ボード・プラハタの理論と実践から 冨塚祐…………… 98

* * *

翻訳

セバスティアーン・ティンパナーロ

『ラハマン・メソッドの創成』(1) 伊藤博明…………… 112

* * *

書評

納富信留・明星聖子編

『フェイク・スペクトラム—文学における〈嘘〉の諸相』 田尻芳樹…………… 150